



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月10日

上場会社名 株式会社L Aホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2986 URL <https://www.lahd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇田 栄一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 栗原 一成 TEL 03-5405-7350
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	7,061	—	1,514	—	1,446	—	948	—
2020年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 949百万円 (—%) 2020年12月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	206.83	199.49
2020年12月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2020年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期前期実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2021年12月期第2四半期	24,875		5,144		20.3
2020年12月期	23,630		4,349		18.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 5,051百万円 2020年12月期 4,267百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	—	43.00	43.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、2020年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前第2四半期までの実績はありません。
 3. 2020年12月期期末配当金の内訳 普通配当 37円00銭 記念配当 6円00銭
 4. 2021年12月期の配当予想については、配当額は未定ですが、これまでの配当政策を基本方針としつつ、今後の中期経営計画の進捗に応じた利益還元を図るため、親会社株主に帰属する当期純利益をベースとした配当性向30%以上を目標とする方針であります。

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	28.7	2,100	86.8	1,900	94.1	1,300	99.9	283.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	5,320,919株	2020年12月期	5,274,919株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	695,500株	2020年12月期	695,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	4,586,042株	2020年12月期2Q	—株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2020年7月1日に単独株式移転の方法により株式会社ラ・アトレの完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期と比較を行っている項目につきましては、株式会社ラ・アトレの2020年12月期第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）との比較を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高7,061百万円（前年同四半期比42.9%増）、営業利益1,514百万円（前年同四半期比492.6%増）、経常利益1,446百万円（前年同四半期比529.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益948百万円（前年同四半期比520.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

なお、前連結会計年度より、従来「不動産管理事業部門」としていた報告セグメントの名称を「不動産賃貸事業部門」に変更しております。

当該変更は名称のみの変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

セグメント別売上高の概況

セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)	構成比	前年同 四半期比
	千円	千円	%	%
不動産販売事業	4,610,363	6,654,484	94.3	44.3
（新築不動産販売部門）	(3,414,912)	(1,240,942)	17.6	△63.7
（再生不動産販売部門）	(1,195,451)	(5,413,541)	76.7	352.8
不動産賃貸事業部門	331,618	405,324	5.7	22.2
その他	430	1,700	0.0	295.5
合計	4,942,411	7,061,509	100.0	42.9

(注) セグメント間の内部売上は除いております。

① 新築不動産販売部門

当第2四半期連結累計期間の新築不動産販売部門の売上高は、新築分譲マンション「ラ・アトレレジデンス室見公園」が竣工し引渡を開始したものの、新築不動産の販売時期を一部見直したことに伴い売上高1,240百万円（前年同四半期比63.7%減）、セグメント利益147百万円（前年同四半期比65.9%減）となりました。

② 再生不動産販売部門

当第2四半期連結累計期間の再生不動産販売部門の売上高は、1戸当たり1億円以上の「プレミアムリノベーションマンション」シリーズの販売が好調に推移したことに加え、リニューアルオフィスビル及び賃貸レジデンスのインベストメントプロジェクト業務が完了したことなどにより売上高5,413百万円（前年同四半期比352.8%増）、セグメント利益1,634百万円（前年同四半期はセグメント利益6百万円）となりました。

③ 不動産賃貸事業部門

当第2四半期連結累計期間の不動産賃貸事業部門の売上高は、前連結会計年度に竣工した賃貸資産などにより売上高405百万円（前年同四半期比22.2%増）、セグメント利益は114百万円（前年同四半期比17.9%減）となりました。

(注) セグメント利益とは、各セグメントの売上総利益から販売費用及び営業外費用を差し引いたものであります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ1,245百万円増加し、24,875百万円となりました。これは、新築不動産販売事業において物件が竣工したことなどにより仕掛販売用不動産が782百万円減少した一方、現金及び預金が1,912百万円増加したことなどによるものです。

また、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ450百万円増加し、19,731百万円となりました。これは、戸別リノベーションマンション販売に伴う返済により短期借入金が1,834百万円減少した

一方、1年内返済予定の長期借入金が665百万円、新築不動産販売の仕入れなどに伴う借入れにより長期借入金が1,232百万円、未払法人税等が234百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ794百万円増加し、5,144百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益948百万円を計上し、配当の実施に伴い資本剰余金が196百万円減少したことなどによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,893百万円増加し、4,488百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益1,432百万円、たな卸資産の減少744百万円等により2,527百万円の資金獲得（前年同四半期は964百万円の資金支出）となりました。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出595百万円等により401百万円の資金支出（前年同四半期は496百万円の資金支出）となりました。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少1,834百万円、長期借入れによる収入3,635百万円、長期借入金の返済による支出1,737百万円、社債の償還による支出105百万円、配当金の支払196百万円等により229百万円の資金支出（前年同四半期は783百万円の資金獲得）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、2021年2月15日付の「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表した数値からの変更はございません。なお、新型コロナウイルス感染症による影響は感染症の再拡大が懸念されるなど先行き不透明な状況であり、今後、連結業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,820,380	4,732,919
売掛金	21,075	4,959
販売用不動産	5,941,462	6,000,323
仕掛販売用不動産	3,833,809	3,051,297
その他	1,488,245	1,246,584
貸倒引当金	△900	△900
流動資産合計	14,104,073	15,035,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,971,095	4,897,453
土地	3,811,199	3,974,168
その他(純額)	73,381	293,755
有形固定資産合計	8,855,676	9,165,376
無形固定資産	106,853	106,547
投資その他の資産	561,562	567,098
固定資産合計	9,524,092	9,839,023
繰延資産	1,886	1,201
資産合計	23,630,052	24,875,410

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	375,318	244,722
短期借入金	3,463,700	1,629,400
1年内償還予定の社債	110,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	1,434,014	2,099,723
未払法人税等	264,610	499,159
その他	1,639,797	2,008,254
流動負債合計	7,287,441	6,491,261
固定負債		
社債	40,000	35,000
長期借入金	11,160,869	12,393,349
資産除去債務	124,206	124,505
その他	668,240	687,198
固定負債合計	11,993,317	13,240,053
負債合計	19,280,758	19,731,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	250,000	265,548
資本剰余金	967,457	786,158
利益剰余金	3,702,872	4,651,421
自己株式	△607,258	△607,171
株主資本合計	4,313,070	5,095,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△33,851	△31,747
繰延ヘッジ損益	△11,135	△9,998
為替換算調整勘定	△707	△2,824
その他の包括利益累計額合計	△45,695	△44,570
新株予約権	81,918	92,709
純資産合計	4,349,293	5,144,095
負債純資産合計	23,630,052	24,875,410

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	7,061,509
売上原価	4,742,129
売上総利益	2,319,380
販売費及び一般管理費	805,242
営業利益	1,514,138
営業外収益	
受取利息	1,741
受取配当金	1,170
為替差益	37,544
その他	33,492
営業外収益合計	73,949
営業外費用	
支払利息	108,116
支払手数料	20,161
社債発行費等償却	685
その他	12,566
営業外費用合計	141,529
経常利益	1,446,558
特別利益	
固定資産売却益	6,059
特別利益合計	6,059
特別損失	
固定資産売却損	20,105
特別損失合計	20,105
税金等調整前四半期純利益	1,432,512
法人税、住民税及び事業税	496,593
法人税等調整額	△12,629
法人税等合計	483,963
四半期純利益	948,549
親会社株主に帰属する四半期純利益	948,549

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	948,549
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2,104
繰延ヘッジ損益	1,137
為替換算調整勘定	△2,117
その他の包括利益合計	1,124
四半期包括利益	949,673
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	949,673
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,432,512
減価償却費	98,694
受取利息及び受取配当金	△2,912
支払利息	108,116
支払手数料	20,161
固定資産売却益	△6,059
固定資産売却損	20,105
売上債権の増減額 (△は増加)	16,116
前渡金の増減額 (△は増加)	△132,952
たな卸資産の増減額 (△は増加)	744,327
仕入債務の増減額 (△は減少)	△130,595
前受金の増減額 (△は減少)	260,085
未収又は未払消費税等の増減額	99,671
その他	379,654
小計	2,906,925
利息及び配当金の受取額	2,912
利息の支払額	△113,231
支払手数料の支払額	△13,448
法人税等の支払額	△255,731
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,527,426
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△244,473
定期預金の払戻による収入	225,820
出資金の払込による支出	△13,980
出資金の回収による収入	300
有形固定資産の取得による支出	△595,143
有形固定資産の売却による収入	227,554
建設協力金の支払による支出	△1,749
その他	56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△401,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,834,300
長期借入れによる収入	3,635,400
長期借入金の返済による支出	△1,737,205
社債の償還による支出	△105,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	46
新株予約権の発行による収入	7,987
自己株式の処分による収入	150
配当金の支払額	△196,508
リース債務の返済による支出	△377
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229,808
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,893,886
現金及び現金同等物の期首残高	2,594,560
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,488,446

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の影響による会計上の見積りへの影響について、重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は不確定要素が多く、不動産市況が悪化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	新築不動産 販売部門	再生不動産 販売部門	不動産賃貸 事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,240,942	5,413,541	405,324	7,059,809	1,700	7,061,509
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	140,348	140,348
計	1,240,942	5,413,541	405,324	7,059,809	142,049	7,201,858
セグメント利益	147,879	1,634,160	114,493	1,896,534	142,049	2,038,583

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リフォーム事業、仲介事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,896,534
「その他」の区分の利益	142,049
セグメント間取引消去	△140,348
全社費用(注)	△451,676
四半期連結損益計算書の経常利益	1,446,558

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。